

会派幹事長の 新年の抱負

みやびわ ひろゆき
宮澤 宏行
〒152-0023
八雲2-25-12
☎ 3724-8209
生福／震特

しみず まさき
清水 まさき
〒153-0063
目黒2-15-12
☎ 6412-8256
都環／震特

おのせ やすひろ
おのせ 康裕
〒153-0051
上目黒4-21-8
☎ 3792-5199
都環／震特

さとう のぼる
佐藤 昇
〒152-0001
中央町1-3-7
☎ 3712-0399
都環

あかぎ ゆたか
赤城 ゆたか
〒153-0052
祐天寺2-19-10
☎ 3793-0567
生福

そうだ じろう
そうだ 次郎
〒153-0053
五本木2-6-9
☎ 3760-4031
文教

たじま けんじ
田島 けんじ
〒152-0032
平町2-16-4-101
☎ 3723-2829
企総／議運

いいた みのこ
飯田 倫子
〒152-0033
大岡山1-27-8
☎ 3717-3760
文教／議運

いその 弘三
いその 弘三
〒153-0051
上目黒3-21-28-205
☎ 5725-1388
生福／議運／震特

くりやま よしじ
栗山 よしじ
〒152-0035
自由が丘2-6-19
☎ 3717-3225
生福

はしもと きんいち
橋本 欣一
〒152-0004
鷹番1-5-7
☎ 3712-0960
企総／震特

いとう よしあき
伊藤 よしあき
〒152-0003
碑文谷1-16-1
☎ 5724-3031
都環／議運

いまい れいこ
今井 れいこ
〒152-0002
目黒本町4-13-1
☎ 3712-6570
文教

にのみや けいいち
二ノ宮 啓吉
〒153-0064
下目黒3-11-10
☎ 3711-6623
企総

「共に支え合う社会」へ向けて 公明党目黒区議団 幹事長 武藤まさひろ

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます。
昨年1000年に1度といわれる規模の東日本大震災に見舞われ、
多くの人命が奪われました。あらためて被災された皆様方にお悔やみ
とお見舞いを申し上げます。友好都市である宮城県気仙沼市、
角田市への復興支援を、私ども公明党目黒区議団としてもお手伝い
して参りたく存じます。
世界を見渡すと、欧州財政危機による世界経済への波紋が大きく
広がっており、円が史上最高値を更新し、国内輸出産業に大打撃が
襲い、2009年リーマンショック以降の景気低迷に歯止めがかからない
状況にあります。本区においては、平成24年4月からの3年間緊急財
政対策として180億円の経費削減が計画され、事務サービスのあり
方を見直す機会と受け止めています。
「心の豊かさを求める時代」への転換期に来ていると予感致しま
す。公明党目黒区議団は、「共に支え合う社会」の構築に向けて、「大
衆と共に語り、大衆と共に闘い、大衆の中に死んでいく」という
立党精神に今一度立ち返り、区民福祉の充実を一步前進させる決意
で臨んで参りますので、1年間よろしくお願致します。

むとう まさひろ
武藤 まさひろ
〒152-0023
八雲4-5-20
☎ 3718-8234
都環／議運

区政の新しい枠組みは 「財政再建」と「災害対策」から

自由民主党目黒区議団 幹事長 伊藤よしあき
皆様方におかれましては、心新たによき初春をお迎えのこと
と心よりお慶び申し上げます。日頃、自由民主党目黒区議団に
温かいご支援ご芳情を賜り、誠にありがとうございます。
さて、目黒区政におきましては、数年来の不況から税収が伸び
悩み、大変厳しい環境です。昨年「緊急財政対策本部」を設
置し、実施計画事業を含む36事業の見直しを行いました。その
効果で平成24年度における積立基金の枯渇は回避されましたが、
平成25年度以降も財源の不足は継続することが予想されます。
私ども自民党目黒区議団は、単に予算削減を考えていません。
「次世代に向けた教育」「高齢者対策」「子育て支援」「安心・安全」
を柱に無駄な事務事業を見直し、未来を見据えた施策の布石を
今、断行することこそ真の財政再建であると考えています。一方、
東日本太平洋沖地震で都市部における災害対策のあり方も教訓
として残され、現在具体的な「地域別マニュアル」も作成中です。
今年は区政の舵取り役を決める大事な選挙があります。区議
会最大会派としての務めを、14人全員野球で果たしていく所存
であります。皆様のご多幸と更なるご指導、ご支援をお願い申
し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

議員個人による年賀状など時候のあいさつ状は、 公職選挙法により禁止されています。

新年のごあいさつは、
本紙をもって代えさせていただきます。

委員会名の略称

- 企総＝企画総務委員会
- 都環＝都市環境委員会
- 議運＝議会運営委員会
- 生福＝生活福祉委員会
- 文教＝文教・子ども委員会
- 震特＝震災対策調査特別委員会

よしの まさと
吉野 正人
〒152-0023
八雲2-18-5
☎ 3725-8973
都環／震特

こうの あかね
香野 あかね
〒152-0003
碑文谷6-1-18-308
☎ 3716-5987
文教／震特

かもした りえ
鴨志田 リエ
〒153-0051
上目黒3-20-6
☎ 3715-7313
都環／議運

きむら ようこ
木村 洋子
〒152-0004
鷹番2-21-10-504
☎ 3760-1617
企総

あおき さなえ
青木 早苗
〒152-0011
原町2-7-11
☎ 3716-0206
生福

今必要なのは、大型開発よりも 福祉と防災のまちづくり

日本共産党目黒区議団 幹事長 森 美彦
3.11後、初めての新年を迎え、いまだに被災地では復興・復興へ懸命の努力が
続けられている。共産党区議団は12月に4度目のボランティアを送った。多くの
の方々物資提供や義援金のご協力に心から感謝申し上げる。原発問題では、区民
のみならずと原発ゼロの取り組みや放射線量測定をすすめるとともに、全ての小
中学校などでの測定を粘り強く区に要求し実現させることができた。危惧されて
いた大変高い値が次々出て除染を進めているが、食材を含めた内部被ばくへの取
り組みをさらに徹底させたい。
青木区長は、偽りの「財政危機」キャンペーンを行い、3年間で185億円（高
齢者のおむつ代・配食サービス、区立デイサービス廃止から中学校の統廃合まで
609事業）にもなるくらしや福祉の削減を区民に押し付ける一方で、中目黒、目黒、
西小山駅周辺で大企業主導の大型開発になりかねない動きを進め、大橋ジャンク
ション・再開発で大企業の開発費を肩代わりする大盤振る舞い。その上、区民の
共有財産であるJR跡地を大企業に安く売却しようとしている。4月は区長選。今
年こそ、こうした税金のムダづかい区政を転換させ、開発優先から福祉と防災第
一にした住民参加のまちづくりを実現したい。

さかもと ひみこ
坂本 史子
〒152-0001
中央町1-8-11-405
☎ 3715-1064
生福

うめはら たつろう
梅原 たつろう
〒153-0041
駒場1-40-11
☎ 3468-5086
文教／議運

すどう じんいちろう
須藤 甚一郎
〒152-0034
緑が丘1-11-3
☎ 3723-8167
企総／震特

梅原・坂本・須藤3名は微力ですが戦い続けています！

無所属・目黒独歩の会 幹事長 梅原 たつろう
今年東日本大震災の被災者の方々の想いをかみ締めながらの迎春です。
青木区政の失敗で23区中、最悪の財源不足（185億円）になった区財政の建て直し
が急務となりました。私達は正副委員長手当廃止など議員関係費用の削減（約3000万円）
を提案しましたが、結果は共産党と自民党・刷新（民主）の合意（公明は了承）により、
区議会議員の歳費のカットはたったの1割にも満たない額で終わりました。財政難に
した責任は青木区長とんでも賛成の与党議員です。行政に対しは是非で臨んで
きた「独歩の会」は、徹底して議員関係の経費の削減に取り組みます。3月11日
の東日本大震災により福島原発が爆発をし、飛散した放射能物質は目黒区にも降り
注ぎました。私達はいち早く教育委員会関係の施設などで独自に放射能測定を行
うと同時に内部被ばく問題を取り上げ、教育委員会に情報提供を続け、子供達
を守ることに全力で取り組んで参りました。私達は皆谷松本市長（チェルノブ
イリでがん対策をした医師）の内部被ばくへの認識と、ペラルーシ共和国の
パンダシェフスキー教授「セシウム137の内部被ばくのがん性疾患の報告」等を
教訓に内部被ばく問題に取り組んでいます。

大平元総理に学び、龍が昇る年に。

みんなの党目黒区議団 幹事長 松田 哲也
2012年辰年を迎えました。昨年被災地の小学校を訪れたプーチンのワンツェク
国王は「皆の中に龍はいます。龍は経験を食べて大きくなります。どうか自分の
中の龍を大切に育ててください」と声をかけられました。またジョン・ダワー
教授は著書「敗北を抱きしめて」の中で関東大震災後のモダンな大正や大戦後の
民主的な日本を挙げ、歴史的な危機は必ず新しい時代を創造すると述べていま
す。年頭にあたり、被災地で、日本で、目黒でそれぞれの龍が昇る一年になる
ことを心から願います。
さて、目黒区は昨年緊急財政対策に取り組み、180億円もの予算を削減する案
をまとめました。しかし、限られた財源の中でどこに予算傾斜をし、いかに魅
力・特色ある目黒区を創っていくかという視点が欠けています。
野田総理は就任後月刊誌で、「いま改めて学ぶべきは大平正芳さんの政治だ」と
語りましたが、私は大平元総理の家族基盤充実を、国や自治体の発展の礎と
する政治理念に学ぶべきだと考えています。
今定例会の一般質問で具体的に提言していますが、震災対策とともに少子高
齢化社会対策を最優先課題とし、家族の絆の再生で膨らみ続ける子育て・介
護の行政コスト軽減にも取り組めます。

いが やすお
伊賀 やすお
〒153-0063
目黒2-4-28-1101
☎ 3713-4535
都環

あきもと かおる
秋元 かおる
〒152-0023
八雲1-4-6-3F
☎ 6303-1924
生福

まつだ てつや
松田 哲也
〒153-0053
五本木3-20-2
☎ 6412-8041
企総／議運／震特

ひろよし あつこ
広吉 敦子
〒152-0003
碑文谷6-1-19-1F
☎ 3791-8069
文教

無会派